



推薦入試に向けて、納得のいく準備をしよう!!

推薦入試について

これから十二月初旬まで、四年制大学等の推薦入試の時期になります。出願については、書類の記入漏れ等がないようによく確認をすることが大切です。出願から受験日まで、短い期間になりますが、面接・小論文・学科試験等の準備を十分に行い、自信をもって受験日を迎えることができるようにしましょう。

○ 体調を整えること。

寒くなってきたこの時期に、風邪をひいたりする生徒が増えてきます。お互いに予防には十分な対策をし、健康を維持しましょう。また、受験勉強のために夜遅くまで起きている機会が増えていますが、睡眠時間を確保し、体調を崩さないようにしましょう。

受験日が近づくと、精神面で落ち着かない生徒も出てきますが、心身ともリラックスした状態をつくりだすためにも普段通りの学校生活を送ることが大切です。

○ 志願理由書をよく読んでおくこと。

面接練習で上手に受け答えが出来なかった部分を再度確認して、質問に対応できるように準備をし、指摘を受けた話し方などを意識するようにしましょう。志願理由書のコピーをよく読み直して、説明不足の点がないかをよく確認すること。また、進路ノートの自分が今まで書き溜めてきた事柄をもう一度読み返して、自分がどのような考え方で志望理由をまとめていったかを整理しておきましょう。

就職内定者・進学先合格者について

就職の内定をいただいた生徒は、就職先の会社への礼状及び内定の承諾書を会社側に提出すること。専門学校等の合格者は、速やかに入学手続きをすること。特に入学金等の振込期日については、保護者の方と確認すること。就職先の会社や進学先の学校から出された課題は、担任に連絡・報告し、期日までに必ず提出すること。学校の推薦を受けて就職の内定や学校の合格が決定していることを自覚して、今後の学校生活を送ること。これから受験を迎える生徒も多数いるので、進路先が決まっているからといって、自分勝手な行動をとって、周囲に迷惑をかけることのないようにすること。

課題探求力養成講座について

9月29日(火)、本校体育館において全学年対象に課題探求力養成講座を開催しました。講師には、株式会社社会津コンピュータサイエンス研究所の代表取締役所長 久田雅之氏をお招きしました。

「IT・ICT技術を活用した地域の課題解決と事例紹介」という演題で、ご自身が今まで取り組んできた事業を紹介し、事業を始めたきっかけや経緯などを生徒にわかりやすく講演していただきました。ベンチャー企業としての起業の難しさや「新しい仕事をつくる」ための考え方や取り組み方をうかがい、その仕事地域の課題解決に役立っていることを知り、生徒たちは改めて地域の課題に目を向けることができました。

講演会後の感想では、「世のため、人のため、地球のため」という言葉が強く印象に残っている生徒が多数いました。また、久田氏より顔認証による検温の機械を寄贈していただきました。

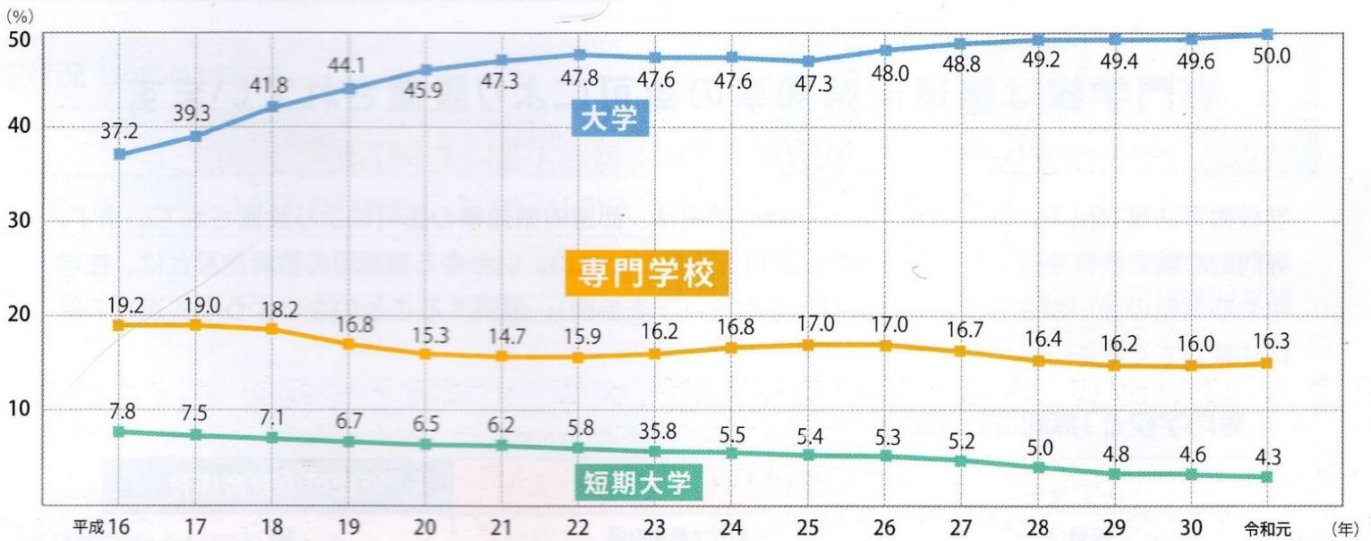


進路選択について

文部科学省の「学校基本調査」統計(令和元年度)によると、今は進学率が上昇し、高校生の約70%が上級学校に進学するのが現状です。進学者の内訳は四年制大学が50%、短大が4%、専門学校16%となります。特に大学進学率が上がってきているのが下記のグラフから読み取れます。



高等学校新規卒業者の進路 (平成16年度～令和元年度)



資料：文部科学省「学校基本調査」

自分の進路選択には、しっかりとした目的意識を持って臨まないと、上級学校進学後、将来の目標や自分自身を見失ってしまい、学業がおろそかになってしまう場合があります。

次のことに注意しながら、自分の進学希望先を探していきましょう。学校を調べることが、学校の理念や方針を理解することにつながります。そのため、学校の教育目的を把握し、強く進学を希望している生徒の方が、当然のことながら合格の可能性も高くなります。合格した学生は、入学後も継続して高い意識や目標を持って学校生活を送り、よい成績を修めているのが現状です。

○ 学問理解

進路希望先学校が提供する模擬授業や講習会に参加するなど様々な機会を通じて理解を深めましょう。専門分野やその入門書を読み、学問の全体像をイメージできるようにするのも学問理解の一つの方法です。自分が探求してみたい学問系統が見つからない場合は、テレビのニュースをみたり、新聞記事を読んだり、読書をするなどして少しでも興味を持ったものを少しずつ調べることで見つかることもあります。

○ 学校理解

進学希望先のホームページの閲覧やオープンキャンパスに参加するなど情報を比較できるようにしていきましょう。進学先で、自分の関心のあることを深く探求できるか、将来の希望する職種に就くための資格を取得できるかなどを調べて学校理解を深めていきましょう。進学を希望する各学校の年間計画等を比較して、授業時間数がどのくらいあるか、時間割がどのように編成されているかを確認し、しっかりとした学習計画や実習・実技があることを確かめることが大切です。

○ 自己理解

これまでの学校生活や授業を通して、頑張れたことや興味・関心を持ったことを中心に、これからの自分を考えてみましょう。まだ自分の良いところや興味を持てるものが見つからない生徒は、部活動、検定試験のための勉強、生徒会活動、ボランティア活動など今現在の学校生活を一生懸命に取り組んでみましょう。自分から主体的に行動し、考えることで新しい自分を見つけることができるはずです。そして、これまでの経験や将来の展望を踏まえて自分のやりたいことを考えていきましょう。

「自己理解」・「学問理解」・「学校理解」の探求をしていくことで、自分の興味や関心がわかってくると思います。興味・関心や将来の展望は、当然ながら「学ぶこと」によって途中で変更もあり得ます。主体的に「学ぶ意志」を大事にすることで、物事への取り組みによい変化が生まれます。様々な情報から、「考えること」によって、自分に必要なものを選びだすことができ、自分の将来への選択につながります。わからない部分、疑問に思う部分について、「学ぶこと」・「考えること」を楽しめるように頑張りましょう。